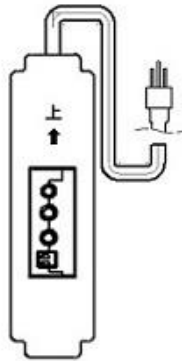


Ki 感震センサー

HKIA002-AS2

施工説明書



●施工前に必ずこの説明書をお読みのうえ、正しく施工してください。

●この製品はコンセント差込みタイプです。

安全上のご注意

警告



禁止

・製品の組立用ネジはゆるめないこと。
(故障、感電の原因になります)



注意

・プラグをコンセントに差込むのは取付けの最後に行うこと。

注意



禁止

・弱電回路や端子間の絶縁抵抗測定はしない。

～施工上のご注意～

- この商品の取付け方向(↑上)の指定と合わせてください。取付けは目分量(5°～10°位)でOKです。
- この商品は主幹ブレーカーが漏電ブレーカーでないとは動作しません。
- 主幹漏電ブレーカーとこの製品の間に、別の漏電ブレーカーの存在する回路には使用しないでください。(主幹漏電ブレーカーが遮断できない場合があります)

【お問い合わせ先】

取扱店



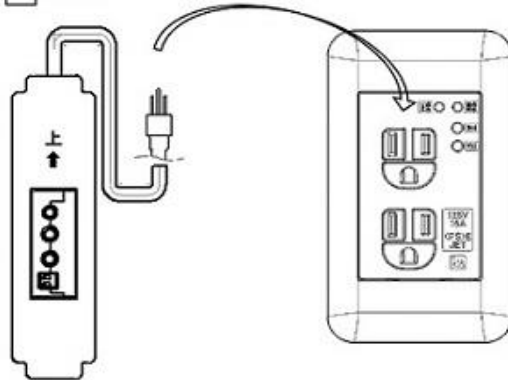
ケー・アイ技術株式会社

〒515-2401 三重県松阪市嬉野釜生田町 367-1

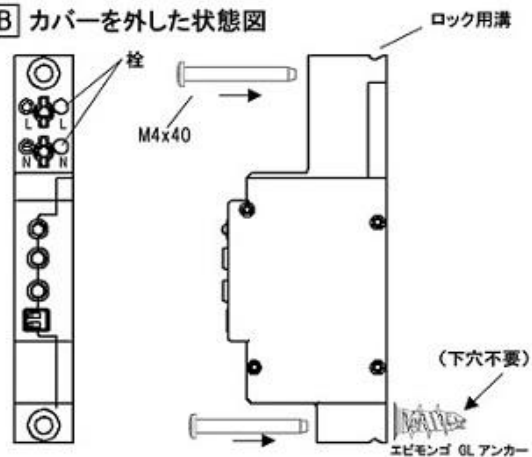
施工手順

- ① カバーを外す
ロックを強くてある為、上下2ヶ所のうち片側のロックを外してください。(ドライバー等を使いテコの作用で)あとは強い力で引張り、カバーを外してください。
- ② 取付け
取り付ける位置を決め、付属のネジ(M4x40)で止めてください。(石こうボードの壁面の場合で締め付け困難な場合は付属のアンカーを活用してください)※図B参照
※ネジがキチンと締まっていないと誤作動する恐れがあります。

A 外観図



B カバーを外した状態図



【壁面が石こうボード等でネジが締らない場合】

付属のアンカーの使用をオススメします。
付属のネジが締まらなかった位置にドライバー2番サイズでアンカーを締め込む。その後、付属のネジをアンカーの位置で締め本体を取り付ける。

- ③ カバーをはめる
はめる際に、配線などを挟まないようにしてください。(故障、感電の原因になります)
- ④ プラグをコンセントに差込む
必ず事前に本体を固定してから差込んで下さい。

取扱説明

感震時の動作

- ① 設定震度の地震(5強、又は6)を感知するとLEDが赤く点滅します。
 - ② 感知から3分後に漏電ブレーカーを自動で遮断します。
 - ③ 震度5強又は6の地震を感知し、3分以内に停電が発生した場合は、復電時に漏電ブレーカーを遮断する。又、感知3分後漏電ブレーカーが一度遮断し、その後の停電の場合でも、復電時に漏電ブレーカーを入れたとき、一度漏電ブレーカーを遮断します。
 - ④ 自動遮断したくない場合は感知後3分以内(タイムアップ前)にリセットボタン(赤いボタン)を押すと正常状態に戻ります。(緑のLEDが点灯)
 - ⑤ 停電中に地震が発生した場合は、このセンサーは作動しませんが再通電時30°程度の傾きを検知すれば漏電ブレーカーを遮断します。
※このはたらきを無効にするにはプラグをコンセントから外す必要があります。
- ⑥地震を感知してから手でブレーカーを遮断しても再通電時は必ず1回ブレーカーを自動で遮断します。

操作・動作確認テスト

- ① テストボタンを短押(2秒未満)するとLEDが赤く点滅しセンサーが正常であることが確認できます。
(漏電ブレーカーは遮断しません)
次にリセットボタンを押すと正常に戻り、緑のLEDが点灯します。
- ② 正常状態からテストボタンを長押し(2秒以上)すると漏電ブレーカーを遮断します。

※この作業は必ず実施すること。

注記

漏電ブレーカー(電源)投入時に初期設定が正常にセッティングできない場合は、異常信号(LEDが赤く高速点滅)を出します。この場合は、以下の方法でセッティングし直してください。

- < 異常信号検出後に漏電ブレーカーが落ちた場合 >
漏電ブレーカーの電源がOFF状態のまま20秒以上待ち、その後、漏電ブレーカーの電源を再投入する。
- < 異常信号検出後に漏電ブレーカーが落ちなかった場合 >
漏電ブレーカーの電源はON状態のまま、感震センサーの差込プラグ抜いて20秒以上待ってから再度差込む。

仕様

品番	HKIA002-AS2
定格電圧	AC100V(50/60Hz)
適応相線式	単相3線式
適応主幹ブレーカー	漏電ブレーカー 高速形 30mA 感度専用
地震感知	震度5強 ※ガイドラインの震度5強に対応しています 250gal 周期 0.3s・0.5s・0.7s にて動作 250gal 周期 0.1s 不動作 80gal 周期 0.3s・0.5s・0.7s にて不動作 震度6 ⑥震度6への設定は慎重に。 (出来れば震度5設定をおすすめします)
地震感知時の報知	赤いLEDの点滅
傾き感知	停電中に地震が発生し、家屋が30°相当以上傾いた場合、電源復旧時5秒後に電源を遮断し、通電火災を防ぎます。
設置場所	人や物が簡単に接触しない場所
テストボタン 最終テスト	設置後や場所変更時は必ずテストボタンを長押し(2秒以上)で漏電ブレーカーを遮断し確認する。